



# 千葉労働動力

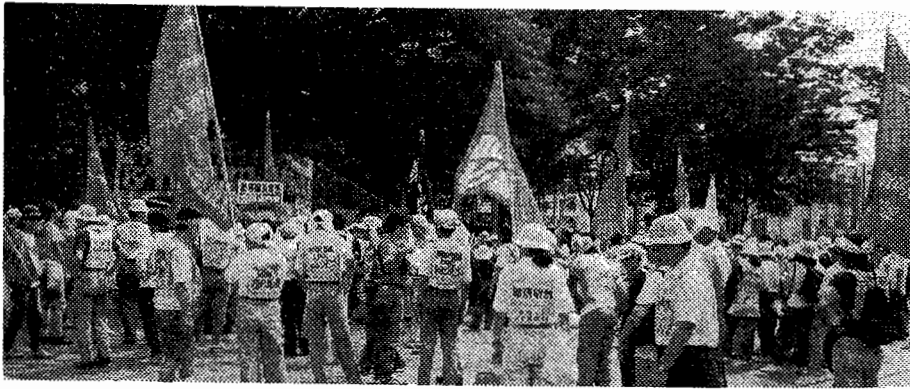
国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222)7207番

94.8.11 No. 4043

## 狭山差別裁判 上告棄却17ヶ年糾弾 石川一雄さん激励

## 8/7 集会開催 部落解放同盟全国連主催



すでにマスクミ等で報道されているとおり、今「仮釈放」攻

### 猛暑を吹き飛ばし石川さん がんばれのニュースレター!!

八月七日、一三時より、千葉市中央公園において、一九七七年八月九日の、東京高裁による上告棄却一七ヶ年糾弾、石川一雄さん激励の「八・七狭山関東ブロック集会」が、部落解放同盟全国連合会の主催で開催された。

猛暑を吹き飛ばし  
三五〇名が結集

八月七日、一三時より、千葉市中央公園において、一九七七年八月九日の、東京高裁による上告棄却一七ヶ年糾弾、石川一雄さん激励の「八・七狭山関東ブロック集会」が、部落解放同盟全国連合会の主催で開催された。この集会は、酷暑が続く中、獄中ただ一人で権力の転向強要を拒否し続ける石川さんの闘いに応えきり、再審貫徹、無実での即時奪還をかちとる集会として、全国連に結集する同盟員、交流センターをはじめとした解放共闘の仲間たちなど三五〇人が結集し、猛暑を吹き飛ばす熱気に溢れた集会としてかちとられた。

「冤罪が晴れるのであれば、どんなに長い月日を要しても」  
石川さんのアピール

集会の中で紹介された石川さんからのアピールでも「冤罪が晴れるのであれば、どんなに長い月日を要しても一向に差し支えない」「狭山事件は有り余る程の無実の証拠が提出されているんですから、有罪認定が如何に無謀であったか解る筈」「今の期間が如何に攻撃的な闘いが勝取れるかに私の生死が決定される」「本番で絶対無罪を勝取ってくださいよう再度声を大に訴えるものであります」と、再審にかける石川さんの決意が参加者にも痛いほど伝わり、この決意をうけて全参加者が千葉刑務所へ激励のデモ行進を行なった。

解放運動解体を粉碎し  
石川さんを奪還しよう

今、石川さんにかけている「仮釈放」は、転向強要攻撃は、朝鮮侵略戦争の危機と差別排斥主義の強まりの中で、最も鋭い対決軸である狭山闘争を解体し、部落解放運動を「連合化」する

ことで、戦争のできる国家体制をつくりあげるための権力を挙げての攻撃であることは明白である。

われわれは、再審貫徹・石川さんの即時奪還に向け、全国連との階級的共同闘争をさらに強化して闘いぬかなければならぬ。

### 鈴木清(千葉雇用対策支部)証人

### いびどろ言葉にこまり動揺

### 清算事業団本務配属差別地労委

八月八日、一五時から、千葉審問が行なわれた。地方労働委員会において、九〇審問では、動労千葉弁護団が年四月の清算事業団解雇を目前の質問に対し鈴木証人が動揺にして行なわれた清算事業団本務、途中幾度となく言葉に詰ま務への採用にあたって、動労千葉清算事業団側弁護士が慌てて葉組員へは配属希望の申し出助け船を出したり、証人に代わりの機会を全く与えず、本務配属して証言しようとするなど、清から排除した不当労働行為に對算事業団側からの最後の証人をして、救済を求めた清算事業団追いつめ、勝利的に証人調べを本務配属事件の審問が行なわれ終了した。

今回の審問では、清算事業団補充の証人を検討し、救済命令千葉雇用対策支部雇用対策課長の獲得に向けて全力を挙げるも兼援助指導課長(当時)だったのである。鈴木清証人に対する組合側反対

### 9・18労働者集会へ 全力であつまろう

9月18日(日)13:00~  
東京都労働福祉会館